

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名 (農業基盤整備事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (040102000849), 所属課 (050101), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名), 財務会計上の位置付け (事業細目), 事業期間 (単年度繰返し), 予算科目 (01, 06, 01, 05, 02, 00), 法令根拠 (土地改良法).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on regional support, agricultural revitalization, and disaster response.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for agricultural infrastructure and facility improvement.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes sub-tables for 投入量 (人員) and 事業費の内訳 (13委託料, 15工事請負費).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	農業基盤整備事業	事務事業No.	40102000849	所属課	農林課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和53年頃、農業基盤整備と農村環境改善を目的に始まった事業である。現在は、未整備による整備必要箇所が多い。また、整備後長期期間が経過したことよる再整備の必要性が生じた箇所等、今後も整備改善が求められている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農業生産基盤整備、農作業の生産性向上や農村の生活環境が整ったと喜びの声がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 本事業により、施設としての機能が保たれ、自主的な維持管理(適正な維持管理活動)や農山村の振興に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業用施設(道路・水路・ため池等)は、農地に欠かせない施設であり、市の財産でもある。また、農業用施設は、地域周辺の生活環境又は防災施設等の役割も担っているため、公共の関与が必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 農業用施設は、受益者(利用者)が恒常的に施設の維持管理を行うことになっているが、適正な管理をしているとは言えない箇所が多く、指導していくことで成果の向上に繋がる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 農業用施設の管理が不適切な状態になり、施設が破損して農地や農村への被害が出ることになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 桜川市土地改良区との適正な事務分担
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 受益者の要望と事業費が比例するため、事業費を無理に下げることでも成果も下がってしまう。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 農業用施設(公共用施設)等の維持換地は、農業者だけに負担が集中しやすい傾向にある。本事業では、事業費の30%以内が受益者負担金となるため、自主的管理負担と考えれば妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 全体として適切であるが、有効性に見直しの余地がある。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地区又は土地改良区等からの整備要望により協議調整を経て、受益者のニーズに合った整備内容を考案して事業化しているが、災害等の対応もあり、補正予算で対応する工事実施も多い。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 確認
--	---